

3月定例会

# 値上げ・有料化・切り捨てるの予算

## 88億円 歴史公園より

# くらし・子育て・防災に

### 市民意見募集の結果

「ごみ袋の有料化」	
賛成	2.27% (2人)
反対	95.45% (84人)
意見表明	2.27% (2人)

「古紙回収報償金の見直し」	
賛成	なし
反対	85.41% (41人)
意見表明	14.58% (7人)

「ごみ袋の有料化」については、市民の反対が圧倒的であり、見直しは必要とされています。また、「古紙回収報償金の見直し」についても、市民の反対が多数を占めています。市は、今後の見直しについて検討していきます。

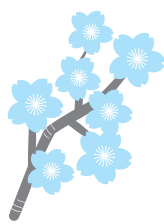
宇治市は、財政が厳しいと2018年度、敬老会や鍼灸・あんま・マッサージ助成の廃止や70の公共施設利用料の値上げを実施しました。

さらに、市は、「ごみ袋の有料化」「古紙回収報償金制度の見直し」をめざす「第3次ごみ処理基本計画」(2019年度～2028年度)の「素案」をまとめ、「宇治市廃棄物減量等推進審議会」に諮問をし、「答申」を受けて、実施しようとしています。

## 市民負担の増加 ごみ袋有料化・ 古紙回収報償金見直しなど

宇治市議会3月定例会は、会期が2月20日から3月28日、2019年度予算案が審議されました。予算案は、「財政が厳しい」として、公共料金の値上げ、有料化、補助金削減、市民サービス削減などが盛り込まれています。共産党議員団は、88億円・歴史公園よりも、市民の暮らし・子育て、防災のまちづくりを優先すべきだとの立場で、論戦と提案を展開しました。

上の駐車場を有料化しようとしています。



## 障害者団体など 63の補助金を見直し

宇治市は、「心身障害児(者)父母の会事業」や「一人暮らし高齢者等訪問活動事業」など143の補助金事業を、「公益性」「公平性」「有効性・効率性」「適切性」「適格性」の観点で「○△△」で再評価し、一つでも「△△」がある63事業については補助金の見直しを行うとしています。市は、今後、見直しもその一つです。

「見直し」とされた補助の例

事業名	公益性	公平性	有効性・効率性	適切性	適格性
障害者週間記念事業	○	○	△	△	○
心身障害児(者)父母の会事業	○	○	△	△	○
身体障害者福祉協議会など障害者5団体運営	○	○	△	○	○
一人暮らし高齢者等訪問事業	○	△	△	△	○
一人暮らし高齢者給配食サービス	○	△	△	△	○

### 宇治市国保と協会けんぽの保険料

	年収400万円 4人世帯	年収240万円 単身世帯
宇治国保	402,023円	178,927円
協会けんぽ	204,400円	120,240円

見込みでは、6億2574万8千円に引き上げられています。予算どおりの基金積立に不足する約6億円の大幅赤字です。さらに、一般会計か

## 高すぎる国保料 引き下げを提案

共産党

市は、2018年度の国民健康保険事業について4207万3千円の赤字になると報告しました。ところが、当初予算での基金積立金の190万6千円を決算見込みでは、4万8千円にしてしまっています。予算どおりの基金積立に不足する約6億円の赤字です。さらに、一般会計か

宇治市は、1兆円の公費投入で、均等割り、平等割りという国保独自の制度をなくし、保険料を協会けんぽ並みに引き下げることとを国に求めています。

党議員団は、均等割と平等割を5000円引き下げる条例提案を行いました。4人世帯では2万5千円の負担軽減となるものです。13億超の基金の活用と、一般会計からの繰入を復活させれば、高すぎる国保料の引き下げができます。

宇治市は、1兆円の公費投入で、均等割り、平等割りという国保独自の制度をなくし、保険料を協会けんぽ並みに引き下げることとを国に求めています。

日本共産党  
**宇治市会議員団  
だより** 2019.4

TEL 0774-22-3141 (市役所)  
(内線2817 議員団室)

FAX 0774-24-7884

## 消費税10%増税ストップ 安倍政権にNO



みやもと 繁夫  
宮本 繁夫



やまざき 健一  
山崎 健一



さかもと ゆうこ  
坂本 ゆう子



わたなべ 俊三  
渡辺 俊三

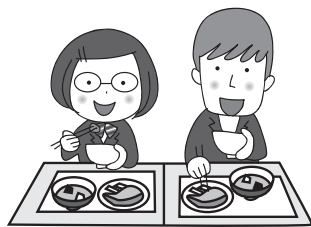


やまざき たずく  
山崎 たずく



おおたに 直幸  
大河 直幸

# 中学校給食の早急な実施を 保育所作って待機児解消を



2月14日に早急な中学校給食の実施と、安全で安心な給食の提供を願う7279筆の署名が市長と教育長に提出されました。党議員は署名で寄せられた市民の声を受け止めるべきだと質問し、市教委は「基本構想の策定を行い、安心で安全な中学校給食が早期に実施できるよう取り組んでいく」と答弁しました。党議員は基本構想をいつまでに策定するのか追及しましたが、市教委は「どの時期にといいのはお答えできません」と答弁し、中学校給食実施の用途は、いまだ

示すことができていません。2019年度の保育所の入所募集で160人が「保育所に落ちた」ことがわかりました。党議員は幼児教育と保育の無償化で保育需要が増加する可能性も指摘し、認可保育所の建設が必須と追及しましたが、市は「保育所を1カ所建設すれば待機児童が即解消されるものではない」と答弁し、認可保育所の建設で待機児童の解消をもとめる保護者の願いに背を向ける態度を示しました。

## 太閤堤跡の「歴史公園事業」

### 議会に基本設計も報告せず

太閤堤跡の歴史公園事業が黒塗りで、詳しい内容が非公開のままです。本

議会に詳しい内容を報告し、その意見を取り入れるなどをしてから決定すべきものですが、それをしようとしていません。

## 意見書 請願

### 「教育の請願」「除草剤の請願」「保育所の意見書」

#### 自民・公明・うじ未来が反対

「教育格差をなくし、ゆきとどいた教育を求めらる請願」と「クリホサート系除草剤の公共エリアでの使用禁止」の請願は、

2月6日、市は「集会所の20%を削減」する「地域コミュニティ再編計画」を

の無償譲渡を行い、無償譲渡に至らない場合には、稼働率などを総合的に判断し

いくというものです。また3月7日には、「ふれあいセンターの今後のあり方について（菟道・伊勢田・平盛）」を発表し、6

万6千人が利用している3つのふれあいセンターを廃止するとしています。

## 「集会所20%削減」「ふれあいセンター廃止」

### ストップを

## 学校のトイレ改修

### 2020年度完成の見込み



改修された学校トイレ (神明小学校)

市教委は、2008年度から2017年度までの「第2次学校施設整備計画」の中で学校トイレの改修に取り組んできましたが、期

修を求め、教育関係者や保護者、地域の自治連合会などからも早期の改修を求める要望が出されるなど、地域の粘り強い運動と議会論戦の中で、来年度に西小倉地域の4小中学校と南宇治中、北横島小、笠取小のトイレ改修についての設計費が予算計上され、2020年度には、すべての学校のトイレ改修工事が行われる見込みとなりました。

## 法律相談

毎月第一金曜日  
午後2時から議員団控室  
事前に議員にご連絡ください。